

令和 6 年 8 月 8 日開催

教育委員会会議録

福知山市教育委員会

- 1 開会の日時 令和6年8月8日(木)
午後1時30分
- 2 閉会の日時 令和6年8月8日(木)
午後3時25分
- 3 招集の場所 市民交流プラザふくちやま 3階 会議室3-2・3-3
- 4 出席委員の氏名 廣 田 康 男
塩 見 佳 扶 子
和 田 大 顕
加 藤 由 美
織 田 信 夫
- 5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの
教育部長 垣 谷 敏 数
教育委員会事務局理事 伊 豆 英 一
次長兼教育総務課長 濱 田 亜 希 子
次長兼学校教育課長 間 島 哲 哉
学校教育課担当課長兼教育総務課 八 板 嘉 展
学校給食センター所長 谷 垣 薫
中央公民館管理担当次長 荻 野 幹 雄
図書館長 山 路 智 子
- 6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者
次長兼教育総務課長 濱 田 亜 希 子

7 議事及び議題

別添のとおり

8 質問討議の概要

別紙会議録のとおり

9 決議事項

議第13号 原案どおり可決、承認

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

福知山市教育委員会 教育長

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

教育委員会会議録調製者 教育部長

教育委員会会議録

1 開会

廣田教育長が開会を宣告。

廣田教育長 傍聴人から傍聴の申請があります。
許可をしてもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 許可をさせていただきます。

2 議事

(1) 議第13号（令和7年度以降使用中学校教科用図書の採択について）

廣田教育長 ～資料に基づき説明～

議第13号「令和7年度以降使用中学校教科用図書の採択について」ですが、まず初めに採択に関わって、私から大きく6点につきまして説明させていただきます。その後、各教科への御意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、資料に基づいて説明をしますので御覧ください。

まず、1点目、教科書の採択の権限についてですが、教科書の採択は学校で使用する教科書を決定することであり、その権限は、公立学校で使用する教科書について、その学校を設置する市町村、都道府県教育委員会にあります。国や私立学校で使用する教科書の採択の権限は校長にあります。そして、義務教育諸学校用の教科書は、原則として4年間同一の教科書を使用することになっております。

2点目、教科書として選ぶ場合、どのように選ぶかということですが、これは文部科学大臣の検定を経て、教科書目録に登載された教科書の中から採択することになります。

この教科書検定制度については、学校教育法により定められており、教科書の検定とは、民間で著作・編集された図書について、文部科学大臣が教科書として適切か否かを審査し、これに合格したものを教科書として使用することを認めることであります。

3点目、採択の方法については、義務教育である小学校、中学校、中等教育学校の前期課程および特別支援学校の小・中学部の教科書については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」によって定められています。

そして、採択にあたっては、共同採択ということになります。市町村立の小中学校で使用する教科書の採択の権限は、市町村教育委員会にありますが、平成26年4月に改正されました「教科書無償措置法」により、都道府県教育委員会が設定した共同採択地区内の市町村教育委員会が協議をして、その地区内では同一の教科書を採択することになっています。この中丹地区においては、綾部市、舞鶴市、本市の各教育委員会が、協議により規約を定めて共同採択を行うための「中丹地区教科用図書採択協議会」を設けています。その事務局は三市の教育委員会が輪番で担当しています。今回については本市が事務局です。京都府教育委員

会作成の選定資料を参考にしながら、学校の教員からなる調査員を置くなどして、独自に教科書について調査・研究した上で、地区採択協議会の協議の結果に基づき、種目ごとに一種の教科書を採択することになっています。

「中丹地区教科用図書採択協議会」の協議に基づいて教科書の採択をするわけですが、最終的に決めるのは各市の教育委員会ですので、この場で協議した結果が過日の「中丹地区教科用図書採択協議会」での結果と異なる採択が決定されることになれば、再度、「中丹地区教科用図書採択協議会」を開催して協議し、地区内で同一の教科書を採択することになります。

4点目、採択の時期につきましては、義務教育諸学校については、使用年度の前年度の8月31日までに行わなければならないとされております。

5点目、教科書展示会についてですが、都道府県教育委員会は、学校の校長および教員、採択関係者の調査・研究、住民の方の研究のために、6月から7月の一定期間、教科書展示会を行っています。府内12カ所が常設展示場となっております。中丹地区においては、中丹教育局と舞鶴市教育委員会で展示をしています。なお、今年度につきましては、本市でも2日間展示会を開催しました。

6点目、「中丹地区教科用図書採択協議会」を経てから、本日の採択までの流れについて報告をさせていただきます。

まず第1回目の「中丹地区の教科用図書採択協議会」は、令和6年5月21日（火）の午前9時半から京都府総合教育センター北部研修所の第2研修室で行いました。議事につきましては、令和7年度以降使用の中学校教科用図書採択に関わり、概要や日程等の打ち合わせが行われました。代表調査員の打ち合わせを令和6年5月30日（木）に行うこと、第2回・第3回の採択協議会の日程、この協議会の予算、そして代表調査員及び調査員の委嘱について、こういった内容の協議を行いました。第2回採択協議会は、令和6年7月18日（木）午前10時から午後4時半頃まで、京都府総合教育センター北部研修所の大研修室で行いました。議事につきましては、経過報告や日程説明の後、代表調査員から中学校教科用図書、「社会 地理的分野」、「社会 歴史的分野」「社会 公民的分野」「社会 地図」、「数学」、「音楽 一般」、「音楽 器楽合奏」、「理科」、「技術・家庭 技術分野」「技術・家庭 家庭分野」、「美術」、「外国語 英語」、「保健体育」、「特別の教科 道徳」、「国語」、「書写」、といった順に調査報告を受け、それぞれに質疑が行われました。

第3回採択協議会は、7月30日（火）の午前10時から、京都府綾部総合庁舎第1会議室で行われました。議事としましては、前回の代表調査員の報告、そして採択基準を参考に、令和7年度以降使用の中学校教科用図書の特徴点等に基づいて、各委員の協議により、「中丹地区教科用図書採択協議会」としての採択を行いました。そして、この採択を基に、各市教育委員会での採択結果を8月16日（金）までに、事務局である本市教育委員会教育長宛てに報告することになっております。

また、令和7年度需要数について、9月2日（月）を期限に京都府中丹教育局長に報告をすることになっております。

本日の教育委員会議での教科用図書の採択につきましては、調査員が調査・研究に当たって用いる採択基準および基本観点に基づいての採択を行います。

採択基準は、3点示されています。1点目として、学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていることです。2点目として、内容や構成が学習指導を進める上で適切であることです。そして3点目として、使用上の便宜が工夫されていることです。それぞれの採択基準について、基本観点が示されています。別表1にて御確認ください。なお、「特別の教科道徳」については、別表2でご確認ください。

それでは、ただ今から教科書一覧にしたがって、国語科より御意見を出していただき採択・決定と順に進めさせていただきます。

まず国語について、御意見はありませんか。

加藤委員

国語科ですけれども、私は光村図書を推薦したいと思いました。

理由としては、大きく3点あります。

1点目、国語科というのは、特に他教科に比べて何をどのように学ぶのか、大変わかりにくいところがある教科だと思っておりますので、教材をいかに教材化していくかが大切なのではないかと考えております。その視点でそれぞれの教科書の手引きを中心に見させていただきました。各社ともに、学び方や課題解決の力が大変重視されていて、全体的に充実していると思いました。

中でも光村図書は新しい手引きとして、内容が一新されていまして。単元の学習のポイントを絞り、付けるべき力がしっかりと身に付いて、活用できるような仕組みになっていると思いました。例えば、単元末の両開き、右側の「学びへの扉」には、学習の流れを示して、見通しを持ちやすくするとともに、その流れの中で身につけるべきポイントが黄色で示されています。かなり重点化されていると思いました。また、横書き縦流れのページであって、近年の学力調査等も意識されているのではないかと考えました。

それと、今回新しいと思ったのは、「振り返る活動」のところですね。授業の中でも振り返る活動は重視されていますけれども、この光村図書の「振り返る活動」は、振り返りの視点が3つ明記されています。ただ単なるまとめまじょうではなくて、3つの視点で振り返るようになっているので、より大切にされているのではないかと考えました。また、両面の左側の「学びのカギ」には、この教材で身につける、資質能力を図解で示して大変見える化されていると思いました。まさにこの単元で何を学ぶのかという学びのカギだと思いました。

2点目は、「国語の力試し」が付属されているのですけれども、来年度以降より全国学調で順次導入予定である、C B TがQ Rコンテンツになっています。身につけた力をテスト形式で自己採点して、自分で何ができたのか、また課題は何かということを確認することで、自分の学習の調整ができるという良さがあるのではないかと考えます。うまく活用して欲しいと思いました。

3点目、やはり光村は読むことの教材数が大変多いと思いました。本を読まない活字に触れにくい生徒たちも多い中で、せめて教科書の中で、多くの作品に出会う機会が増えれば良いなと思いました。

以上3点です。

廣田教育長

ほかに御意見はありませんか。

塩見委員

今もありましたけれども、各社とも言葉を紡ぐ素晴らしい編成になって

おりまして、甲乙付け難かったです。
しかし、その中で私は三省堂を推薦します。その主な理由は3つあります。

1点目、三省堂は、思考力・判断力・表現力等の育成を図るために、思考の方法を巻頭にイラストや図式化により示しています。

これは3年間を通して、教材が変わっても同じ形で描いていますので、生徒に学び方を定着させやすいと思います。さらに、主体的・対話的に学習に取り組むことができるように、学びの道しるべや学習の流れを示し、ねらいに則した学習過程を明確にして、見通しを持って学べる工夫がしてあります。また協働的な学びを随所に取り入れることによって、生徒同士の主体的な学びの機会を設けています。

2点目は、学力が低い生徒にも学びやすい工夫があります。それは、見開き完結のレイアウトで情報がまとまっていたり、図解が随所に用いられたりして、視覚的に内容が捉えやすいように工夫されていることです。

3点目は、資料編やQRコードが充実していることです。例えば、小倉百人一首の百首を各学年に掲載する、各学年で文法について解説をするなどです。そして、QRコードの参照先サイトでは、ドリルや動画、資料などが豊富です。

以上の3点で三省堂を推薦します。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 それでは、国語については、「光村図書出版株式会社」という御意見と「株式会社三省堂」を評価される御意見がありました。私を含めて採決を行いたいと考えますが、いかがでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 では、どちらかに挙手をお願いします。
「光村図書出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 次に、「株式会社三省堂」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 それでは、「光村図書出版株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、国語については「光村図書出版株式会社」で採択とします。

次に、書写について御意見ありませんか。

- 加藤委員 書写については、国語科の教科書が光村図書に決まりましたので、国語教科書と連動している光村図書に強みがあると思います。
また内容的には、3段階で「考えよう・確かめよう・活かそう」という学習の流れがわかりやすく、何をどう学ぶかが大変明確になっていると思いました。また、目標を振り返り、チェックできるようにもなっていました。
それと書写ブックとして教科書から取り出して、硬筆の学習ができるという点が良いと思っています。
さらに、書写のお手本が実物大で、ページの中にありますので、これは指導者側にとっても指導しやすく、生徒にとっても参考にしやすいのではないかと考えています。
- 廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。
- 塩見委員 私はただいまの加藤委員の御意見に賛同します。
国語の教科書と同じ発行社の方が、生徒にとって理解しやすいと思います。
- 廣田教育長 ほかに御意見はありませんか。
- 全委員 特になし。
- 廣田教育長 それでは、書写につきましては、お二人から光村図書の良さを述べていただきました。
ほかに御意見がありませんので、書写については「光村図書出版株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。
- 全委員 異議なし。
- 廣田教育長 異議がございませんので、書写については「光村図書出版株式会社」で採択とします。
次に、社会の採択を行います。御意見ありませんか。まず、社会 地理的分野について、御意見ありませんか。
- 織田委員 社会の地理的分野におきましては、東京書籍を推薦させていただきたいと思います。
内容といたしましては、大單元ごとに導入の活動があり、さらにその單元ごとに学習を振り返ることができるまとめのページがありました。
学習課題や内容を整理するポイント、また振り返って設問するためのチェック、とらえが各ページの下の方に設定をされており、導入とまとめがリンクしている部分を評価したいと思います。
また単元のまとめにおいては、思考ツールを用いることで、見方、それから考え方を整理する事を促している点、さらに單元ごとで学習内容に関するウェブページにリンクするQRコードを記載しております。巻末にあるそのデジタルコンテンツについての説明もある中で、内容的には非常に充実していると考えて、私としましては東京書籍を推薦させてい

ただきたいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

和田委員 私もただいま織田委員の方から説明がありました東京書籍株式会社の図書を推薦したいと思います。

私の推薦理由としまして、6点特徴的なものを挙げたいと思います。

1点目は、単元を貫く研究課題と1時間毎の学習課題管理を振り返る研究のステップを設けることで、段階を踏んで課題解決の構成になっていること。

2点目は、学習をする地域の印象的な写真を「世界の窓」で掲載することで、学習意欲を高めていること。

3点目は、「もっと理解」のコーナーを随所に設けて難しい用語を解説し、単元のまとめには、ワードチェックを設けて確実な学力の定着を図っている工夫がされていること。

4点目、「聞かせて！中学生」では、世界の中学生が自分の暮らしている地域の事を紹介することで学習意欲、関心を深めるため、単元の見通しを持たせるコーナーが設けられていること。

5点目は、巻頭に地理を学ぶ5つの見方を設けて、重要な視点の例を丁寧に示していること。

最後に、教科用図書に掲載されている思考ツールに合わせたQRコンテンツがとても充実していて、丁寧に載っており、整理されているという点から、私も織田委員と同様、東京書籍株式会社の教科用図書を推薦したいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 社会 地理的分野については、お二人から東京書籍を評価する意見を述べていただきました。

ほかに御意見がありませんので、社会については「東京書籍株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、「東京書籍株式会社」で採択とします。

次に、社会 歴史的分野の採択を行います。御意見ありませんか。

塩見委員 私は東京書籍を推薦します。理由は主に2つです。

1点目は、思考力・判断力・表現力等の育成を図るために、課題解決的な学習ができるように、導入資料、学習課題、本文、チェックアンドトライの流れで、1単位時間の学習過程が含まれています。そして、「未来にアクセス」のコーナーでは、これからの社会の在り方や自らの生き方を考える上での視点が提示されています。またQRコードには、自らの学習を振り返り、画像として保存できるようになっています。

2点目は、生徒の興味関心を高める歴史資料や資料の情報量が豊富であることです。また、QRコードが導入本文まとめのページに盛り込まれ

ていたり、動画を視聴したりすることにより、スムーズに知識の習得が
できやすくなっています。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

和田委員 私も7点の理由により、東京書籍株式会社の教科用図書を採択してはど
うかと考えます。
まず1点目は、小学校の社会で習った言葉にマークをつけ、振り返りを
することで、小中の接続を円滑にする工夫をし、巻頭に絵画、資料や写
真から時代を捉える「資料から発見！」を設けて、興味深く学習に取り
組めるような方法がなされていること。
それから、歴史学習の基本的な知識、技能を系統的に学習するため、「ス
キル・アップ」を設け、学習に必要な技能の定着を図っていること。
「みんなでチャレンジ」を設けて、個人活動とグループで学習を進め、
活動を設定し学習が含まれるような定着が図られていること。
それから、「地域の歴史を調べよう」では、身近な地域の歴史を調べる
ことで、地域の一員であることの自覚と社会形成に参画する態度を育て
ようとする仕組みがなされていること。
それから「キャラクター年表」は、小学校のレディネスを生かしながら、
時代を見通すことができて面白いと感じました。
それから、「歴史的な見方・考え方」では、時代や年代、推察、比較、
相互の関係、現在とのつながりと習得した歴史から広がる多くの考察を
系統的に、現在に繋げている導きがあること。
それから最後に私が一番大きいと思いましたのは、日本の歴史は多様な
立場、境遇にある人によって作られ、政権の中央だけでなく、地域同士
が交流、衝突しながら、歴史が積み重ねられているということから、様々
な立場・視点から、歴史を見るという工夫があちこちに見えた東京書籍
株式会社の教科用図書を推薦したいと思います。
以上です。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 歴史的分野については、お二人から東京書籍の良さを述べていただきま
した。ほかに御意見がありませんので、歴史的分野については「東京書
籍株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、社会 歴史的分野については「東京書籍株式会
社」で採択とします。
次に、社会 公民的分野の採択を行います。御意見ありませんか。

織田委員 公民的分野におきましては、多くの出版社がある中で、私としてはいく
つかの出版社の評価で少し悩んだところがありましたけども、先ほど地
理的分野、歴史的分野で、東京書籍が採択されましたので、公民的分野
につきましても、同様に東京書籍を推薦させていただきたいと考えてお

ります。

内容といたしましては、大単元の導入として、単元を貫く探求課題が非常に豊富に設定されていて、生徒が自ら課題を設定することで、学習の動機付けや学習の見通しの方向性がしやすいというところを評価させていただいております。

また大単元のまとめの「振り返ろう」というページにおきましては、先ほどの地理的分野もそうでしたけども、思考ツールを使ってステップを踏みながら探求課題の解決に向かえるように、そうした仕組みが工夫されているところを評価したいです。

さらに、身近で具体的な場面から憲法、それから政治経済をとらえ、何よりも主権者意識、さらには消費者意識を促す「18歳へのステップ」というコーナーが設けられていることを評価したいと思います。

それから、最近の教科用図書は非常にQRコードが多用化されておりま
す。東京書籍さんにおいては、学習課題やタイトルの隣にQRコードが定置化されており、使いやすく内容が充実しているところを評価させていただいた結果、東京書籍を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長

ほかに御意見ありませんか。

和田委員

私も東京書籍株式会社の教科用図書を推薦したいと思います。

理由は以下の5点でございます。

抽象的な用語を解説する「もっと解説」では、基礎基本の定着を図るために、このようなコーナーが設けられていること。

「18歳へのステップ」では、18歳でできること、20歳でできることを、クイズ形式で豊富に用いながら、効果的に意識を高めていること。

それから、小集団で参加型学習を行う、「みんなでチャレンジ」を設け、対話的な活動を効果的に実施できるような工夫がなされていること。

それから「スキル・アップ」では公民学習に必要な技能の定着を、「もっと知りたい」では学習の内容を深め広め、そして、事柄を多くの視点・角度から考察して学習の定着を図るコーナーが有効であると思われること。

それから、自分の意見を述べたり、友達と学習したことを交流したりすることで、接続可能な社会について構想して、自分のできることをアクションプランにまとめるページを設けていること。

それから、全体的に事柄を多くの視点から分析して学習を進めることで、思考判断力、表現力を高められているように考えられていること。

それから、東京書籍の社会3分野については、誰一人取り残されない学びの視点が謳われているのですが、その通り教える側から、教えられ側からも細かい配慮がなされているということで、私も公民では、東京書籍株式会社の教科用図書を推薦したいと思います。

以上です。

廣田教育長

ほかに御意見ありませんか。

全委員

特になし。

廣田教育長

公民的分野については、お二人から東京書籍を評価する意見を述べていただきました。ほかに御意見がありませんので、公民的分野については

「東京書籍株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

廣田教育長

異議がございませんので、社会 公民的分野については「東京書籍株式会社」で採択とします。
次に、社会 地図の採択を行います。御意見ありませんか。

織田委員

地図に関しては、2社のみエントリーという形なので、どちらにするのか非常に悩みました。
先ほど、社会3分野で東京書籍が採択されましたので、東京書籍の地図は他の教科書の構成に準じた配列となっており、問題はないと思いますけれども、私はどちらかと言いますと地図については、帝国書院を推薦させていただきたいと思います。
その理由としましては、まず世界各州の鳥瞰図が掲載され、各州の地域的特色を体感することができる内容となっています。さらに地図帳の構成や基本的な見方、使い方がわかりやすく解説されている点においては、非常に生徒に馴染みやすい内容になっているのではないかと思います。
それ以外にも、中学校を卒業して以降も地図を長らく使えるということで考えた時に、非常に耐久性のある表紙素材を採用されている点も評価の1つとして考えて、私としては帝国書院を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長

ほかに御意見ありませんか。

和田委員

私も株式会社帝国書院の教科用図書を推薦したいと思います。
理由は、先ほどの織田委員の御発言と被るところもありますけれども、8点について述べたいと思います。
まず、凡例、方位、地図記号、色、縮尺など、小学校で学習した地図の約束事を振り返ることで、地図帳の使い方を再確認することとともに、基本的な見方や使い方など、地図活用の基本となる部分を丁寧に説明してあること。
それから、生徒が主体的に取り組みながら、地図的な見方・考え方を働かせる問いコーナー、「地図で発見！」を156問と多く設けていること。
それから、織田委員さんからもありましたけれども、世界6州を鳥瞰図で表して関心を引き出し、地域理解をサポートしていること。
それから、日本の地域別地図の縮尺を100万分の1に統一し、大都市周辺部9か所は縮尺50万分の1で比較しやすくしていること。
それから、ポイントのコーナーでは、地形だけでなく、世界各州の自然環境、生活、文化、歴史、産業等々、様々な特徴が視覚的に理解できること。
それから、我が国固有の領土や排他的経済水域がわかりやすく表示されていて、領域に関する用語の意味も理解できるようになっていること。
社会3分野それぞれに活用できるように配慮がなされていること。
それから、これは全く私の主観的なことで、評価選定において適当ではないかと思われそうですが、地図を開くと何かしら楽しくて、次々興味が湧いてきて、次のページをめくりたくなるようなことを感じました

ので、織田委員と同じように株式会社帝国書院の教科用図書を採択してはどうかと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 地図については、お二人から帝国書院を推される意見を述べていただきました。ほかに御意見がありませんので、地図については「株式会社帝国書院」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、社会 地図については「株式会社帝国書院」で採択とします。
次に、数学の採択を行います。御意見ありませんか。

塩見委員 私は、教育出版を推薦します。理由は、主に3つあります。
1点目は、基礎的・基本的な知識技能の習得を図るための工夫についてです。まず、ある単元を学習する前にはレディネス、例、例題、確かめ、問い、基本の問題と6段階に渡ってスモールステップで展開されています。さらに、各ページにある注釈やキャラクターのつぶやきなどが丁寧でわかりやすい説明になっています。これらは、数学が苦手な生徒に寄り添い、学習内容の習得を着実に図ることができる工夫だと思います。
2点目は、章の導入で身近な生活場面、例えば環境問題を方程式で考えるなどの課題が用意されたり、章末の「数学の広場」では、実生活との繋がりや発展的な内容を扱ったりしています。これらは協働的な学びを生み出し、数学的活動がしやすいように工夫されていると思います。
3点目です。学習のまとめや章の問題、章毎のページの色使いが共通しており、インクルーシブ教育の視点が含まれています。
ちなみに、調査研究報告では、本教科書は、QRコードは少ないけれども、行き届いた教科書であるとありました。
今の理由から、私は教育出版を推薦します。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

加藤委員 数学につきましては、私も苦手な生徒に入っておりますので、本当に悩みながら教科書を見せていただきました。
苦手な生徒に寄り添うということについては、とても大事な視点だと思いますが、私は少し違う視点でさせていただき、数研出版が良いと思いました。
私は数研出版をあまり使ったことがないので、どういう内容か見たとき最初に思ったのは、数学を学ぶことが楽しくなるような編集をされていると思いました。
その理由としては、まず新しい内容に入るときに、その内容を学ぶ必要性が感じられるように展開がしてありました。
2点目に、学んだ内容をその都度、授業時間ごとに活用して解決するTryという場面が各所に設けられております。これは、日常生活と関連付け

をするような課題でもありますし、数学の有用性が感じられるようにされているのではないかと思います。

楽しく学ぶという点での2点目ですが、やはり確かな知識、技能の習得という点で工夫されていると思いました。その理由は4点あり、1点目は、各章に入る前に必ず振り返りで、その章に関連する既習内容をまず確認できるということがあります。2点目は、項目の最後に練習問題を配置し、基礎的な問題を繰り返し練習できます。3点目は、巻末の演習ページに教科書の内容を補充できる問題を掲載されています。A、B、そして活用と、それぞれが段階ごとに色分けして掲載されているので、生徒たちにとってもその問題のタイプが分かりやすいと思いました。4点目は、全国学調で課題がある内容、例えば関数の概念やそのような内容が大変丁寧に扱ってあると思いました。

さらに、大きく3点目としては、考え方や学び方の問題です。

その単元を開けますと、生徒と先生のキャラクターが図示されていて、キャラクターの対話を吹き出しで示してあります。数学的な見方・考え方を具体的に示していて、生徒たちにとっても大変興味深いのではないかと思います。

それから、studyaidd.Bシリーズというものが付属されています。

これは大きく3つ良さがあると思いました。

1点目は、動画などの編集が可能です。2点目は、プリントを作る目的のために特化した機能が満載です。プリント作りというのは先生たちにとっても大切なことであり、それをサポートできるという点です。それから3点目は、ユニバーサルデザインです。音声の読み上げ、それから総ルビの表示、配置の配色の設定、色、文字サイズ、書体も変更が可能です。それぞれの生徒の特性への様々な対応が可能で、個別対応ができる要素であって、大切な視点だと思いました。

以上のような理由で数研出版が良いのではないかと思います。

廣田教育長

ほかに御意見ありませんか。

和田委員

お二人の委員さんからは、教育出版と数研出版が推薦されましたけれども、私は株式会社新興出版社啓林館の教科用図書が良いのではないかと思います。

その理由としまして、8点あります。

まず1点目は、すべての例題に解説動画、スマートレクチャーというのがある、生徒の理解によって繰り返し、振り返り学習ができるようになっていないこと。

これは大変良いのではないかと思います。

2点目、学習の展開では、話し合いや伝え合う学習が多く設定されて、協働的に問題を解決する態度が養われる工夫がされていたこと。

それからステップ方式を使って、問題設定、解決、解決の過程を切り換えて改善、新たな問題へと繋ぐことで、定着と数学的理解を意識した設定がなされていること。

それから、学習で考えに出したことを「たいせつな考え方」として示し、具体例を添えていること。

「学びを振り返ろう」が多く設定されていて、学習の前後の関連性を確かめながら学習が進められること。

それから、「学びを確かめよう」の最後に自分の言葉で学習を振り返り、

学んだことを定着させようとする場面を設け、「学びを身につけよう」では、少しステップアップした問題を取り上げて学習定着をし、展開を広げていること。

それから本文、練習問題を含め、年間指導時間数は各学年ともゆとりを持った指導できるよう時間配分がなされていること。

最後に、動かすシミュレーション、動画スライドショー、リンク、プログラム等々QRコンテンツを多用して、生徒の間違いやすいところや基本となるところ、図形の立体学習、解説動画が多く、幅広く活用できる工夫がなされていると感じましたので、私は啓林館を推薦したいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

織田委員 今回の数学においてはお三方とも様々な意見が出てくる中で、私としては、先ほどの加藤委員が推薦されました数研出版を推薦させていただきたいと思います。

先ほどの加藤委員と意見評価が重複するところはあるかと思いますが、数研出版を評価させていただいた理由としましては、単元の冒頭に小学校から学んできた内容が扱われている点、それと関連付けながら、新しい学習ができるのではないかという点です。それから、確認問題に合わせて補充問題がQRコードから読み取ることができることから多様な問題が用意されており、それらを活用して生徒自ら学習を進めていく工夫がなされていると思いました。さらに、QRコードの例題全てに、音声解説がされており、充実していると考えました。

それから先生方への視点として、これも加藤委員の方から説明がありましたが、studyaidD.Bという付属の資料が先生方にとって非常にプラスになるのではないかと思います。

そうした点を踏まえて、私としては数研出版を推薦したいと考えております。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 数学については、各委員から、教育出版、数研出版、啓林館をそれぞれ評価する意見を述べていただきました。それぞれの特色を考慮していただきながら、「教育出版株式会社」、「数研出版株式会社」、「株式会社新興出版社啓林館」で、私を含めて採決を行いたいと考えますがいかがですか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 では、3社のうち、1社に挙手をお願いします。
「教育出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 「数研出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 「株式会社新興出版社啓林館」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 それでは、数学につきましては、3社とも良い点はあるわけですが、「数研出版株式会社」に決定ということによろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、数学については「数研出版株式会社」で採択とします。
次に、理科の採択を行います。御意見ありませんか。

和田委員 私は株式会社新興出版社啓林館の教科用図書を推薦したいと思います。
理由は5点ありまして、まず1点目は、中学校で学ぶ理科を探究と表現し、教科の使い方、何を学び、学習をどのように進めていくかを漫画やイラストを使って丁寧にわかりやすく示されていること。
2点目は、課題の把握、追求、解決を具体例、「探究を深めよう」で見える化していて、実験では正解ではなくヒントを示すことで、生徒自身の自主的思考を引き出す工夫がなされ、また単元末では、「みんなで探Qクラブ」により生徒の多様な意見の見える化、巻末の「探Qシート」へと続く探究を意識した学習展開がわかりやすく明確にされていること。
それから、AB版のダイナミックな巻頭で生徒の興味を引き、生徒の深い学びに繋がるアクション活用をしているように思われること。
その取り組みが深い学びに繋がるところでは、経験年数の浅い先生方にも、事業が組み立てやすいと思われること。
それから、全国学力・学習状況調査から見た課題を踏まえて、学年末総合問題の繋がる問題で、会話文や実験計画を取り上げた問題を設けていること。
最後に、観察実験の基本操作が丁寧に説明されていて、基本的な技能知識が動画コンテンツでも取り扱われていますし、また観察実験では注意マーク、保護メガネ、要換気マークなどがわかりやすくマーク付けされていて、安全性にも非常に配慮された教科用図書であると思いました。
以上の理由から、啓林館の教科用図書を推薦したいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

織田委員 私も先ほど和田委員より推薦のありました啓林館を推薦させていただきたいと思います。
各出版社ともそれぞれ良さはある中で、和田委員から具体的な説明がありましたから、あまり重複しないよう私の評価ポイントをお話したいと思います。
まず「学ぶ前にトライ！」という項目がある中で、学習前後の自らの考えを比較できる機会が設けられている点が1点目です。

さらに、考えてみようという内容が随所に見られ、またその単元のはじめには、「はてなスイッチ」というQRコードの記載があって、1つの現象について、生徒が自分の考えを持つことから授業を始められるように工夫されている点を評価させていただきたいと思います。

さらに、学校の授業中実験による事故のニュースを過去に聞くことがありましたけども、この図書では、硫化水素の発生について実験が設定をされておらず、安全性を優先した内容になっており、配慮がなされていると感じました。

それから、私の仕事に関わるところで話をしますと、今世間では化学物質の管理が注意深く述べられています。この理科の教科においても、今後そういった化学物質管理についての視点を取り入れた内容にしていくことも必要ではないかということを、これは私見ですけども述べさせていただきたいと思います。

以上、先ほど和田委員同様にこの理科については、啓林館を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 理科については、お二人から啓林館を推される意見を述べていただきました。ほかに御意見がありませんので、理科については「株式会社新興出版社啓林館」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、理科については「株式会社新興出版社啓林館」で採択とします。
次に、音楽 一般の採択を行います。御意見ありませんか。

加藤委員 音楽につきましては、教育芸術社を推薦したいと思います。
理由は2点あります。
1点目は、まず教材を開けたときに、それぞれの教材にまず学習目標が大きく提示してあります。そして、それに迫るための具体的な活動、そして押さえないポイント、さらに教材の楽譜上の音楽記号を掲載してありますので、ぱっと開いたときに非常に見やすいし、見通しを持って学習が進められる工夫があると思います。この点については、指導する側にとっても、生徒にとっても大切な視点だと思いました。
2点目は、QRコードから学習に役立つコンテンツ、例えば動画やパート別音源、それから創作ツール、ワークシートなどが今回大変増えておりまして、学習への意欲や理解に繋げられると思っています。特に伴走音源が入っているのは、使いやすいのではないかと思います。
以上です。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

織田委員 先ほど加藤委員さんから推薦がありました通り、私も教育芸術社を推薦させていただきたいと思います。

加藤委員の意見と重なるところが多少ありますけども、私の推薦ポイントとしましては、まず音楽という教科書でありながら非常に写真が豊富である点です。

また、QRコードから読み取れる学習に役立つコンテンツについては、先ほど加藤委員が評価されたコメントと同様の意見でございます。

今回、音楽の一般につきましては、教育出版との比較になりますけども、音源やワークシートの部分については、残念ながら私としては教育出版の方が少なく感じられたというところもあって、演奏と楽譜がリンクして、視覚と聴覚両方から知覚できるような内容となっている部分については、教育芸術社の方が良いのではないかと感じ取れました。

以上から、教育芸術社を推薦させていただきたいなと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 音楽 一般については、お二人から教育芸術社の良さを述べていただきました。ほかに御意見がありませんので、音楽 一般については「株式会社教育芸術社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、音楽 一般については「株式会社教育芸術社」で採択とします。
次に、音楽 器楽合奏の採択を行います。御意見ありませんか。

加藤委員 器楽につきましては、先ほど一般で教育芸術社が採択されましたので、やはり同じ教育芸術社の方が取り組みやすいのではないかと考えております。
理由としては3点あります。
まず「学びの地図」によって学習に見通しを持って、生徒たちが主体的に取り組めるように工夫されている点です。
それから、伴奏のQRコードによって、個人でもグループでも生徒が楽しんで練習できて、指導者にとっても全体の様子を把握しながら指導できるのではないかと思います。
それから3点目は、先ほど織田委員さんからもありましたが、一般の音楽と同じように、楽譜と演奏がリンクしておりますので、視覚と聴覚両方から知覚できるようになっている点というのも魅力に思っています。
以上です。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

織田委員 音楽 器楽合奏についても、加藤委員さんから推薦コメントがありましたのと同様私も教育芸術社を推薦させていただきたいと思います。
私個人としても学生時代に、吹奏楽をやっていた経験というところも含めて、今回の教育芸術社の伴奏QRコードの内容から、個人でも生徒が楽しんで、楽器に触れながら練習できると思います。
さらに、指導する先生側にとっても全体の様子を見ながら、指導を進め

られるという点については、先ほどの加藤委員と同様の意見となります。また、様々な国の楽器や楽曲が取り上げられ、総合的に幅広い価値観を養えるように工夫されている点を評価させていただいて、教育芸術社を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 音楽 器楽合奏については、お二人から教育芸術社を推される意見を述べていただきました。ほかに御意見がありませんので、音楽 器楽合奏については「株式会社教育芸術社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、音楽 器楽合奏については「株式会社教育芸術社」で採択とします。
次に、美術の採択を行います。御意見ありませんか。

織田委員 美術については、まず見た目の感覚としての評価ですけども、ページ設定の見開きや原寸大の図がダイナミックな展開である点です。その部分については見せ方が生徒に美術に出会うことについて、興味関心を引いて、楽しくなるように工夫がなされている点を評価させていただきました。
それから、教科書そのものの構成も美しく、模様の表現などについても身近な題材を用いているという点です。例えばラグビー日本代表のユニフォームから、日本古来の模様について説明がなされている点については、最近の事柄である点から、生徒たちの興味関心を引きやすく、深めようという内容で繋がっているのではないかと思います。
さらに表現、鑑賞、知識技能といったバランス良い配置がなされており、そういった点を評価させていただいた結果、私としましては開隆堂出版を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

塩見委員 私は日本文教出版を推薦いたします。その理由は2つあります。
1点目は、生徒作品が大きく多く掲載されていまして、説明文にはあなたという言葉が多く使われ、それを受けて自分ならば、と主体的に学習活動に導くように工夫されています。
2点目は、鑑賞のみを扱うページが豊富であり、鑑賞と表現を関連させています。また鑑賞のところでは説明の動画があり、ワークシートも使いやすくなっています。学びの資料が教科書の後半に納められており、生徒が主体的に確認できる工夫がされていると思います。
以上の理由で、私は日本文教出版を推薦します。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

和田委員 私は先ほど述べられましたお二人の委員さんと違うのですが、光村図書

出版株式会社の教科用図書が良いのではないかと思います。

理由は7点あります。

まずゆったりとした紙面で、多彩な方法多彩な色調で生徒の創造力を掻き立てている図書になっているのではないかと感じました。

2点目は、自然の中の形、色、光、色の特徴、効果と配色など10ページを使って、資料が用意されていること。

それから、「体感ミュージアム」という鑑賞題材では、紙面でじっくり鑑賞して、そのページに用意されているQRコンテンツで体感的に鑑賞できるように工夫がされており、日本の絵画を楽しむ5つのキーワードを設けて、日本の技術をより鑑賞できるページを設定している点や、そのページにおいては、より和紙に近い用紙を使用しているなど細部に工夫が見られること。

それから、題材の始めに必ず鑑賞作品が用意されていること。

それから、「みんなの工夫」では、同年代の仲間が発想から複数の作品作成に至るまでの工夫点をインタビュー動画で紹介して、学習意欲を高め、同年代の仲間が努力していることを共に学習できること。

別冊の資料集には、様々な技法や教材の使い方などが掲載されていて、生徒の主体的で細かな意欲をかき立てるために、3年間使用する資料が組み込まれていること。

それから最後に、美術の教科用図書はA4ワイド版で鑑賞図版が大きく、インパクトが強く、別冊資料は活動中いつでも参照できるように、A4版の中綴じ製本でコンパクトに使えるように、本のサイズまでも行き届いていると思いましたので、私は光村図書を推薦したいと思います。

廣田教育長

ほかに御意見ありませんか。

加藤委員

様々な意見が出ておりますので、大変悩んだ教科ではありますが、私は先ほど織田委員さんのおっしゃった開隆堂が、美術に出会うことが楽しくなるような見せ方をされていて新しいなと思いました。

織田委員さんの意見と重なる部分もありますが、まず美術の教科書の使い方としては、アイデアのツール、また作品を通した感動や出会いの機会を捉えるという点で、ページの作り方が大きな図版であったり、実物大にしたものであったりが効果的に配置されていると思いました。なので、教科書の内容を教えるというよりも、教科書に教師の工夫を加えた個性ある授業展開が可能な構成になっているのではないかと思います。ですから、生徒に返すための指導には、多少難易度が高めかもしれないとは思いましたが、指導者にとっては特に魅力ある構成だと思いました。

さらに、先ほど織田委員さんからもありましたが、身近なところに美術があるのだという導きです。日本代表のラグビーのユニフォームとか、日本古来の模様とか、そういったものが掲載されていて、生徒の興味関心が深められるような繋がりになっていると思いました。

最後に、すべての題材で始めに動画がありまして、キャラクターによる解説で身の回りにある生活と題材の関連を示すことで、大変興味を持ちやすくなっているのではないかと思います。

まずもってこの表紙の斬新さにぐっと引かれたところがあります。

以上です。

廣田教育長	ほかに御意見ありませんか。
全委員	特になし。
廣田教育長	美術については、各委員から、開隆堂、日本文教出版、光村図書、それぞれ評価する意見を述べていただきました。それぞれの特色を考慮していただきながら、「開隆堂出版株式会社」、「日本文教出版株式会社」、「光村図書出版株式会社」で、私を含めて採決を行いたいと考えますがいかがですか。
全委員	異議なし。
廣田教育長	では、3社のうち1社に挙手をお願いします。 「開隆堂出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手)
廣田教育長	次に、「日本文教出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手)
廣田教育長	次に、「光村図書出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手)
廣田教育長	それでは、美術につきましては「開隆堂出版株式会社」に決定ということでしょうか。
全委員	異議なし。
廣田教育長	異議がございませんので、美術については「開隆堂出版株式会社」で採択とします。 次に、保健体育の採択を行います。御意見ありませんか。
和田委員	私は、東京書籍株式会社の教科用図書が良いのではないかと思います。 理由は7点あります。 まず、紙面の構成で、見開き左側に本文、右側に資料、2次元コードは右下と統一されたレイアウトで見やすく学びやすい。また、見開きを1単元時間として「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」というステップを学習の流れとしているので生徒が深い学びに入りやすい。各章の扉に、小学校保健の学習を学び直すQRコンテンツを付けて、小学校での学びを確認して中学校に繋げている。 それからQRコンテンツが興味理解を広げ深める動画を始め、思考ツール、シミュレーション、巻末のワークシート等多様に用意されていて、学習がサポートされている。

これまでなかった巻末にスキルブックを設け、将来にわたって生徒に身につけて欲しいことや、大切にしたいことがまとめられている。
また、章末の学習のまとめにはキーワードの解説、章末問題、ワークシートのQRコンテンツを設け、知識の確認、整理、定着を図っている。
困ったときの相談の方法や相談窓口をスキルとして扱い、生徒に生きる力として身につくように努めている。
最後に、多様性を意識したところではSOGIの考え方に基づいて、異性に限定しない表現イラストを採用するなどして多様性を大切に取り扱っている。
以上の7点から、私は東京書籍を推薦したいと思います。

廣田教育長

ほかに御意見ありませんか。

織田委員

先ほど和田委員から東京書籍を推薦する御意見がありましたけども、私は大修館書店を推薦させていただきたいと思います。
内容としましては、様々な現代的な課題が特集資料に盛り込まれていて、保健体育という教科を学びや生活、さらに社会に繋がられるように構成されている点をまず評価させていただきたいと思います。
さらに、單元ごとにQRコードを配置して、特にデジタル教材を連動させることでICT機器の利活用を図っています。「Web保体情報館」というコーナーがあり、学習と関連したサイトが紹介されており、学びが深められるような工夫がされている点が2点目です。
それから、各章のまとめとして、知識技能の問題がほどよく配置されており、学びやすい展開になっていると思います。
さらに最近の事だと、性についての表現や、心と体、ストレスへの対処の仕方など、発達時期に必要な内容をQRコードと連動させた保体クイズにチャレンジさせる工夫で、基本問題が活用できるようになっているという点など、振り返りの面でも工夫されているところを評価させていただいて、私としましては大修館書店を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長

ほかに御意見はありませんか。

加藤委員

私も先ほどの織田委員さんと同じく、大修館書店を推薦したいと思います。
理由としてはいくつかありますが、まず単元の冒頭に課題を掴むための導入活動が示されておりまして、興味関心を引き出しつつ、全体の学びに繋がりやすくなっているのではないかと思います。
2点目は、教科書を開いてみますと本文の説明と関係資料が周りにざっと出ているのですが、資料が枠で括ってあり、本文と近くに配置されていることで、大変わかりやすくなっていると思いました。
3点目に思っていたのは、先ほど織田委員さんがおっしゃった2次元コードの配置に関する事です。これは同じ意見です。

廣田教育長

ここまで、東京書籍という御意見と大修館書店を評価される御意見がありました。ほかに御意見はありませんか。

全委員

特になし。

廣田教育長	それでは、「東京書籍株式会社」と「株式会社大修館書店」で、私を含めて採決を行いたいと考えますが、いかがですか。
全委員	異議なし。
廣田教育長	では、どちらかに挙手をお願いします。 「東京書籍株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手)
廣田教育長	次に、「株式会社大修館書店」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手)
廣田教育長	それでは、保健体育につきましては「株式会社大修館書店」に決定ということによろしいでしょうか。
全委員	異議なし。
廣田教育長	異議がございませんので、保健体育については「株式会社大修館書店」で採択とします。 次に、技術・家庭 技術分野の採択を行います。御意見ありませんか。
塩見委員	私は開隆堂を推薦します。理由は3つあります。 1点目は、思考力・判断力・表現力の育成を図るための配慮として、各編の内容に技術の見方・考え方が書かれており、願いや要求、科学の考え方からアプローチして、技術の仕組みを考えさせる流れが一貫して示してあります。 2点目は、身の回りの生活の中から、問題を発見して課題を設定し、構想を練り製作、そして評価、改善へという一貫した学習展開がなされており、主体的・対話的に学習に取り組む工夫がなされています。 3点目は、作業実習の内容、作業のポイント、安全についてなど、多くのページ数でまとめられ、イラストや写真などを用いて丁寧でわかりやすく提示してあります。また、省略されがちな基本的なキーワードについても、具体的な解説やまとめがなされておりまして、全体的に内容に厚みがあると思います。また、各ページにQRコードがありまして、デジタルコンテンツや思考を深めるコンテンツの利用ができます。 以上の理由で開隆堂を推薦します。
廣田教育長	ほかに御意見はありますか。
織田委員	先ほど塩見委員さんの方から開隆堂の推薦がありましたけども、私は東京書籍を推薦させていただきたいと思います。 先ほどの開隆堂と良い面で重なるところもあるかもしれませんが、まずほとんど各ページにQRコードが配置されており、デジタルコンテンツが有効に利用可能となっています。また技術の工夫として、問題解

決に取り組むときに必要な基礎的な知識や技能を「テックラボ」というコーナーでシンプルにまとめられております。そのポイントに関して、理解を深めるための写真や説明が豊富にあるように思いました。さらに各章では、考えてみよう、調べてみよう、やってみよう、話し合ってみように分けて活動マークがあり、生徒に思考を促す工夫もなされているのではないかと思います。教科書全体としては、各ページとも落ち着いた色合いで色分けがされており、非常に見やすく感じました。以上の事から東京書籍を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長

ほかに御意見はありませんか。

和田委員

私も東京書籍を推薦したいと思います。
理由は、まず各編の構成が、理解する、問題解決に取り組む、繋げる、広げるに統一していることから、問題解決に取り組むことで、S o c i e t y 5. 0の実現に繋げる構成になっていること。
それから、生徒の興味関心を持って学習を進めるため「技術の眼鏡」、「最適化の窓」、「技術の天秤」を設けて技術の見方、考え方をわかりやすく見える化していること。
それから、写真を豊富に用いていることで、作業の理解や安全性で気を付けることなどが視覚化を通してわかりやすく整理できている上に、QRコンテンツでフォローされていること。
それから、問題解決に必要な基本的知識や技能の要点を「テックラボ」でまとめられていて、知識技能の習得のために役立っていること。
それから、基本的な学習内容などがデジタルコンテンツを利用するようになっていて、見やすく取り扱いやすいこと。
QRコンテンツが412個用意されていて、非常に子どもたちにわかりやすく、授業が進められるような工夫がされているという点から、東京書籍を推薦したいと思います。

廣田教育長

ここまで開隆堂と東京書籍を評価される御意見がありましたが、ほかに御意見はありませんか。

全委員

特になし。

それでは、「開隆堂出版株式会社」と「東京書籍株式会社」で、私を含めて採決を行いたいと考えますが、いかがですか。

全委員

異議なし。

廣田教育長

では、どちらかに挙手をお願いします。
「開隆堂出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長

次に、「東京書籍株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 それでは、技術・家庭 技術分野につきましては「東京書籍株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、技術・家庭 技術分野については「東京書籍株式会社」で採択とします。
次に、技術・家庭 家庭分野の採択を行います。御意見ありませんか。

加藤委員 家庭科におきましては、先ほど技術と同じ東京書籍が良いのではないかと思います。理由としては、大きく3点あります。
1点目はまず内容の配列です。他社はA B Cの順なのですが、東京書籍はB C Aの順になっておりまして、Bは「衣食住の生活」、次のCが「消費生活・環境」、最後Aが「家族・家庭生活」です。他社は家族・家庭生活から入っておりますが、東京書籍は衣食住の中でも、特に食生活からスタートしていて、これは生徒にとって家庭科を最も身近に感じる題材で、良い配列だと思います。まず教科書を初めて開いたときに何に出会うかというのは、とても大事な視点ではないかと思います。
2点目は、思考ツールを活用して問題解決能力を高めるために、必ずどの題材のところでも「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」の活動の中で、随所に取り入れられていると思いました。
3点目は、少し細かな部分かもしれませんが調理実習等です。裁縫等でもそうなのですが、題材の目標が振り返りしやすい内容に、今回大変具体的に改善されていると思いました。横流れで調理手順がわかりやすいというのがあるのですが、例えばハンバーグ定食の調理実習の場合、以前でしたら「適切な火加減でハンバーグを調理できる」という目標提示がありました。今回同じところを見ると、「ハンバーグの中心部まで火を通すことができる」となっており、どういう風なところに注意を向ければ良いのか非常に具体的に示されていて、改善されていると思いました。
以上の3つの点で東京書籍を推薦したいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見はありませんか。

和田委員 私も東京書籍を推薦したいと思います。
ただいま加藤委員さんが述べられましたので、ほとんど言い尽くされた思いがするところなのですが、付け加えるならQRコンテンツが充実していて、個別最適な学びがそれぞれの学びの力によって使い分けられるという点が理由の1つです。
それから自分の生活チェックを設けて、学習の前後で自分が変わった事が視覚的にわかりやすく理解でき、小学校からの学習の繋がりがわかりやすいように工夫されていること。
それから「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」など、活動を数多く取り上げ、自分で学習すること、グループで学習し話し合っ
て発問できる箇所が多く設けられていること。

それから各節の最後に、「まとめよう」「生活に活かそう」等のまとめを設け、知識の定着、次の学習に向けて主体的に取り組めるような工夫がなされていることなどから、東京書籍を推薦したいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 技術・家庭 家庭分野については、お二人から東京書籍を推される意見を述べていただきました。ほかに御意見がありませんので、技術・家庭 家庭分野については「東京書籍株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、技術・家庭 家庭分野については「東京書籍株式会社」で採択をします。
次に、外国語 英語の採択を行います。御意見ありませんか。

塩見委員 私は、開隆堂を推薦します。
その主な理由は4つあります。
1点目は、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力を磨くなど、単元のゴールへの道筋がわかりやすく展開されています。そして、単元で身につけた力を確認しながら学期末のゴールとして、「Our Project」を活用する。そのスパイラル的な学習の積み上げをしながら3年間で身につけるゴール設定がわかりやすくなっています。
2点目は、「Can-Doリスト」が各学年の巻末にあります。これは自己評価がしやすく、達成度を確認しながら学習を進めやすくなっています。
3点目は、「Review&Retell」の後に「Action」という表現活動が設定されておりまして、言語活動ができるようになっています。原稿を読み上げるのではなく、メモを元に発表する事に慣れるためのステップが細かく施されています。
最後です。4コマ漫画で単元の見通しを示したり、写真やイラストを多くしたりして、生徒の関心を高め、理解を深めるための工夫がされています。
これらは英語が苦手な生徒に、その抵抗感を減少させる工夫でもあると思います。
以上、4つの理由から、私は開隆堂を推薦します。

廣田教育長 ほかに御意見はありませんか。

加藤委員 私は、今回少し意外な感じもしたのですが、光村図書を推薦したいと思います。
理由としては3点ほどあります。
まず、こんなこと言うのもどうかと思うのですが、光村図書は英語の教科書も全体的にやや国語的な印象を持ちました。
というのは、等身大の中学生が様々な出来事を通して成長する3年間のストーリーになっております。学校生活を中心とした身近な場面での共

感できるセリフや、続きが気になる展開が学ぶ意欲に繋がるのではないかと思います。そのストーリーを学びながら、楽しみながら基礎基本を身に付けるというあたりが魅力的に思いました。

ストーリー性の良さというのは3点ほどあって、ストーリーですから英語を使う目的や場所、状況が大変ストーリー上わかりやすいということ。2点目は、やはり夢中になって読めることです。何度も読みたくなることで、繰り返し触れて頭に残るようになります。それから、3点目は、話題が同じ等身大の中学生の会話ですから、自分事になって発信等に繋がりやすいというあたりが非常に魅力的に思いました。

それから、「英語の学び方ガイド」という巻末付録がありまして、生徒の学習の手助けになると思います。

それから教科書を開けた時に、目次のあたりに帯教材と小教材が使用学年も示されていて、これは指導する側にとっても生徒にとっても見通しが持て、活用することでより総合的な英語の学びができるのではないかと思いますので、光村図書を推薦したいと思いました。

廣田教育長

ほかに御意見はありませんか。

和田委員

私は、東京書籍株式会社の教科用図書を推薦したいと思います。理由としましては、各学年各学期の到達点を「Can-Doリスト」として表し、到達点に向かって学習が進められる形式になっていること。

それから、「Unit」で4技能5領域をバランスよく取り上げるための場面、状況が設定されていることで学習が成立していること。

それから、「Real Life English」で聞く・話す・読む・書くといった技能・領域に焦点を当てて、より様々な場面を想定して丁寧に実践的な扱いをした領域の定着を図っていること。

それから、1ページあたり1時間を基本としていて時間配当で指導計画が把握しやすくなっていると思いました。

それから他社でも多く使用されていますが、東書では教科書紙面に277か所のQRコードからアクセスできる1205項目3298ファイルの映像や音声は、生徒が本物の英語に触れ、興味関心を深めながら効果的に授業が展開できると思いました。

また、QRコードからアクセスできる本文や語句の音声では、スピード変化、スラッシュ表示、カラオケ機能、マスク表示機能等が付いていて、生徒個々に合った学習ができること。

それから、先ほど他の委員さんがおっしゃった光村も開隆堂も良いと思ったのですが、私は最終的に東京書籍を推薦するのは次の部分です。英語力の定着に課題がある生徒の問題を探ると、その大きな要因の1つに小学校で習った事の定着がまちまちで、中学校英語に触れた時点で差があります。スムーズに入っていけない生徒のために、東京書籍ではアニメ教材、語順の学習はゲーム方式で、単語と文法はクイズ方式、単語は音と文字など、小中の接続が非常に丁寧で、全員が同じスタートラインに立って学習が始められる。中学校英語に入っていく前段が非常に丁寧であったというところから、私は東京書籍を推薦したいと思います。

廣田教育長

ほかに御意見はありませんか。

織田委員

他の教科と同じように外国語英語もそれぞれ色々な御意見がある中で、

私は加藤委員さんが推薦されました光村図書出版を推薦させていただきたいと思います。

加藤委員の意見と重なるところはありますけども、今回の光村の内容を見ている中で、生徒たちが教科書の中にあるそれぞれの題材に基づいて、ストーリーを楽しみながら身に付けていける内容になっているのではないかと感じられました。

それから、学期に1回の割合で「You Can Do It!」の活動が設定をされていて、各ユニットで学んだ事を生かして取り組めるまとめの活動になっていると思いました。

また、ライティングやスピーキングのモデルが紙面ではなくて、QRコンテンツが用意をされている中で、テンプレートに頼らないで思考力・判断力・表現力を育成できるような工夫がなされている点を評価させていただきたいと思います。

それから、全国学調などを参考にしたスピーキングテストにトライできるQRコンテンツが付いているところも評価をさせていただいて、加藤委員同様に、私は光村図書出版を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見はありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 英語については、各委員から、開隆堂、光村図書、東京書籍をそれぞれ評価する意見を述べていただきました。それぞれの特色を考慮していただきながら、「開隆堂出版株式会社」、「光村図書出版株式会社」、「東京書籍株式会社」で、私を含めて採決を行いたいと考えますがいかがですか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 では、3社のうち1社に挙手をお願いします。
「開隆堂出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 次に、「光村図書出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 次に、「東京書籍株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 それでは、「光村図書出版株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員	異議なし。
廣田教育長	異議がございませんので、外国語 英語については「光村図書出版株式会社」で採択とします。 次に、特別の教科 道徳の採択を行います。御意見ありませんか。
和田委員	私は、光村図書出版株式会社の教科用図書を推薦したいと思います。理由は8点あります。 まず1年生で「差別を許さない」、2年生で「他者を尊重する」、3年で「尊厳を守る」「多様性を認める」をテーマとして設定していて、様々な視点からの教材が用意されています。自分を大切にすることや自分と同じように他者を大切に感じる感覚を養う取り組みは、福知山市の教育目標によく似ているという感じがして、感銘を受けたと言いますか、納得をしました。 それから、「共に生きるために」というユニットでは、問題を自分に引き寄せて生徒に深く考える場を作っていること。 それから、漫画や挿絵を使って解説することで、テーマを理解しやすく考えやすくしていること。 それから、感動・尊重・学びの本質を探ろうというテーマで話し合いの時間を多く取って、対話を通した合意形成の力を育み、本質に深く近づける工夫がされていること。 それから、巻末の「学びの記録」では話し合いを活性化するための思考ツールが紹介されており、問いに対する考え方を整理できて、納得いく答えを作り上げるような活用ができること。 それから、「チャレンジ」で小学校の定番教材に付録が付いていて、小学校で学んだ事を中学校で学び直すことで、自分の成長と考えが様々な事に繋げているような印象を受けました。 それから最後に、友達の良いところを見つけたり、多様な考え方が生まれる活動があったりするなど、多面的多角的に考えられている教科書であると読み取りましたので、光村図書を推薦したいと思います。
廣田教育長	ほかに御意見はありませんか。
加藤委員	道徳につきましては、全部で7社の教科書会社がありまして大変迷う部分もありました。 大変感動的な内容のものも多くて、読んでいだけで涙が出そうな感動的なものも、特に2社ほどあったと思っています。 しかし、道徳は、より良い生き方について考え議論していく教科なので、読み物としての感動的な事や価値の明確なものの教材では、なかなか議論になりにくいのではないかとも思いながら見せていただきました。 そういう視点で見たときに3点ほど、光村図書のものが良いと思う理由があります。 まず、1点目ですけれども、中心人物の心情を直接描写せずに、想像させて考えさせるような終わり方になっている文末表現であるということです。例えば、「僕は美咲を追って走り出した」という行動描写で終わっていたり、何々なのだろうかという疑問系で終わっていたり、色々想像させるような問いかけ方がしてある教材が光村にはたくさんありました。

2点目は、教材末の「考えよう」というところに3つの問いが必ずどの教材にも付いています。「自分に問う発問」「友達と問い合う発問」「生き方を問う発問」の3段階あり、善い価値を深める工夫があると思いました。

3点目は、付録で差し替え可能な教材がたくさんありました。生徒の実態に応じて、善い価値は同じにしながらも、生徒の実態に応じて、より深い学びに繋がられる教材が付録でありましたので、これも魅力の1つだと思います。

以上の理由で、光村図書を推薦したいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 については、お二人から光村図書を評価する意見を述べていただきました。ほかに御意見がありませんので、道徳については、「光村図書出版株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、特別の教科 道徳については「光村図書出版株式会社」で採択とします。

これで令和7年度以降使用中学校教科用図書について、全て採択が終わりました。

最後に、採択しました教科書の確認をさせていただきます。

国語と書写は「光村図書出版株式会社」、社会の地理的分野、歴史的分野、公民的分野は「東京書籍株式会社」、社会 地図は「株式会社帝国書院」、数学は「数研出版株式会社」、理科は「株式会社新興出版社啓林館」、音楽の一般と器楽合奏は「株式会社教育芸術社」、美術は「開隆堂出版株式会社」、保健体育は「株式会社大修館書店」、技術・家庭の技術分野と家庭分野は「東京書籍株式会社」、外国語科 英語は「光村図書出版株式会社」、特別の教科道徳は「光村図書出版株式会社」で採択いたしました。

以上のとおり、令和7年度以降使用中学校教科用図書について決定しましたが、議決ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、議決とさせていただきます。

3 閉会

廣田教育長が閉会を宣言。